

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	キーパー棟技術棟	階数	地上5F
建設地	藤沢市辻堂神台二丁目4番36号	構造	S造
用途地域	都市計画区域内(市街化区域)、工業地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2016年9月1日
敷地面積	4,749 m ²	作成者	(株)日立建設設計
建築面積	1,752 m ²	確認日	2016年9月16日
延床面積	5,796 m ²	確認者	(株)日立建設設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値: 100%
 ②建築物の取組み: 81%
 ③上記+②以外の: 81%
 ④上記+: 81%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	<ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー、省資源により、環境に配慮した研究所、工場を目指す。 	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> 断熱性能を向上させ、快適な室内環境を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性能の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> あてやかな色彩は避け、シンプルな色調の外壁を選定し、周辺地域との調和を図る。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> 外壁窓窓には、複層ガラスを採用し、日射による熱負荷を軽減する計画とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 雨水貯留槽を設け、公共施設の排水負荷を軽減する計画とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 隣地境界線の近い北側外壁は、ガラス窓を極力少なく、光害対策をおこなった。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される